

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第1部門第2区分
 【発行日】平成30年8月16日(2018.8.16)

【公開番号】特開2018-79145(P2018-79145A)
 【公開日】平成30年5月24日(2018.5.24)
 【年通号数】公開・登録公報2018-019
 【出願番号】特願2016-224255(P2016-224255)
 【国際特許分類】

A 6 1 L 31/04 (2006.01)
 A 6 1 K 47/42 (2017.01)
 A 6 1 K 47/02 (2006.01)
 A 6 1 L 31/14 (2006.01)
 A 6 1 L 24/00 (2006.01)
 A 6 1 L 24/10 (2006.01)
 A 6 1 K 9/06 (2006.01)

【F I】

A 6 1 L 31/04 1 2 0
 A 6 1 K 47/42
 A 6 1 K 47/02
 A 6 1 L 31/14 3 0 0
 A 6 1 L 24/00 2 4 0
 A 6 1 L 24/10
 A 6 1 K 9/06

【手続補正書】

【提出日】平成30年7月6日(2018.7.6)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

0.6質量%～3質量%のコラーゲン、水、200mM～330mMの塩化ナトリウム及び緩衝剤を含有し、pHが6.0～9.0である生体組織孔閉鎖用ゾル。

【請求項2】

0.6質量%～3質量%のコラーゲン、水、200mM～330mMの塩化ナトリウム及び緩衝剤を含有し、pHが6.0～9.0である潰瘍保護用ゾル。

【請求項3】

0.6質量%～3質量%のコラーゲン、水、200mM～330mMの塩化ナトリウム及び緩衝剤を含有し、pHが6.0～9.0である血管塞栓療術用ゾル。

【請求項4】

0.6質量%～3質量%のコラーゲン、水、200mM～330mMの塩化ナトリウム及び緩衝剤を含有し、pHが6.0～9.0である生体組織接着用ゾル。

【請求項5】

前記緩衝剤がリン酸塩を含む、請求項1～4のいずれか一項に記載のゾル。

【請求項6】

ゲニピン又はゲニピン誘導体を40mg/L～1400mg/Lの範囲で含有する、請求項1～5のいずれか一項に記載のゾル。

【請求項 7】

コラーゲンが、テロペプチド除去型コラーゲンを含む、請求項 1 ~ 6 のいずれか一項に記載のゾル。

【請求項 8】

1.4 質量% ~ 1.7 質量% のコラーゲンを含有し、カテーテルを通して生体組織に局所投与される、請求項 1 ~ 7 のいずれか一項に記載のゾル。

【請求項 9】

生体組織に接触するとゲル化して生体組織に付着する、請求項 1 ~ 8 のいずれか一項に記載のゾル。